2016年12月期 決算説明会

2017年2月21日

株式会社Ｃ＆Ｇシステムズ

JASDAQ:6633

目次

1. 会社概要 …… 3

2. 2016年12月期決算概要 ……12

3. 中長期事業方針の進捗状況 ……19

4. 2017年12月期通期業績見通し ……26

5. 株主還元について ……33

1. 会社概要

会社概要

商号	株式会社C＆Gシステムズ(JASDAQ 6633)
事業内容	金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート
所在地	(東京本社)東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社)福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
代表者	代表取締役社長　塩田　聖一
資本金	5億円
直近業績 (2016年度実績)	売上高 ： 44億45百万円／営業利益 ： 4億8百万円
事業所	国内7拠点(東京2ヶ所/北九州/名古屋/大阪/太田/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社(タイ/カナダ/米国 [金型製造])
社員数	連結:234名　単体:205名 (2016年12月末現在)

沿革

	旧コンピュータエンジニアリング（CE）社	旧グラフィックプロダクツ（GP）社
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防設立（1983年「コンピュータエンジニアリング株式会社」に商号変更）	
1981年		GP社設立
1997年		GP社株式店頭（現・東証JASDAQ市場）上場
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社（αHD：当社）設立	
2010年	CE社およびGP社をαHDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C＆Gシステムズ」として事業会社に移行	

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是　「生産性の限界に挑戦する」
- 経営理念　「技術立国日本を代表する
  CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
  世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ　「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」という**ニッチな市場**において、
グローバルに**トップ企業**になることを目指す

↓

回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業
=
金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ

■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内：6,000事業所

トヨタ自動車　アイシン精機　豊田紡織　立松モールド　デンソー　ヤマハ発動機
三光合成　三菱重工　マツダ　深江製作所　三井ハイテック　高城精機　エスバンス
パナソニック　オムロン　シマノ　がまかつ　CHOFU　大阪造幣局　リョービ　昭和精機
岐阜精機　ミネベア　小糸製作所　スタンレー電気　ホンダエンジニアリング
アルプス電気　ニフコ　TOTO　ニコン　キヤノン　オリンパス　パロマ　ローム

海外：1,000事業所

LG電子　サムソン電子　現代自動車
DOOSAN機械　FOXCONN
teleflex　Medical　友達光電　AMTEK

・・・その他多数

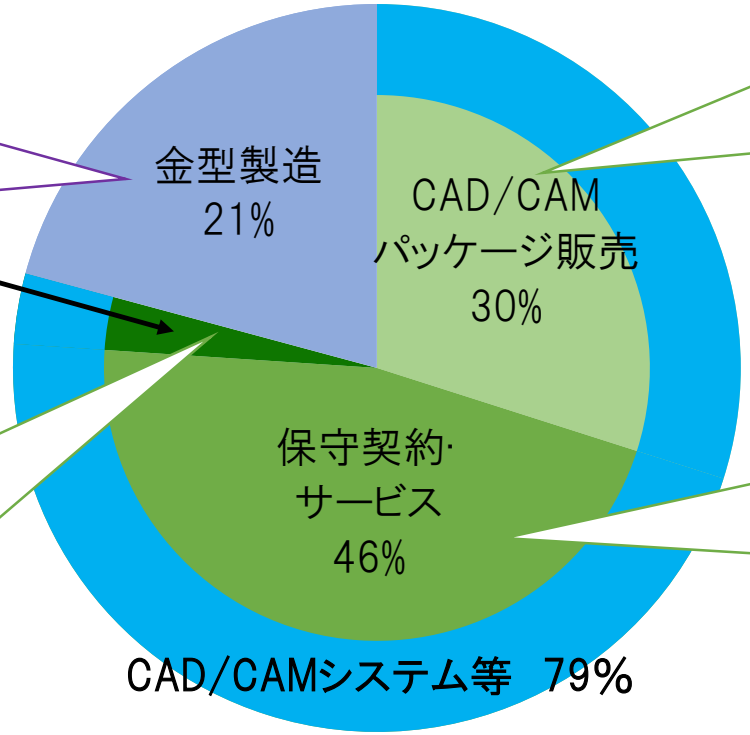
事業セグメント

主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

【2016年度連結売上高：44億45百万円】

金型製造の請負

ファブレス型の
高効率経営



開発サービス
3%

主に製造業向けに
CAD/CAMシステムを
パッケージで販売

買い替え需要
新規顧客獲得

CAD/CAM関連の
受託開発、
各顧客向けの改良

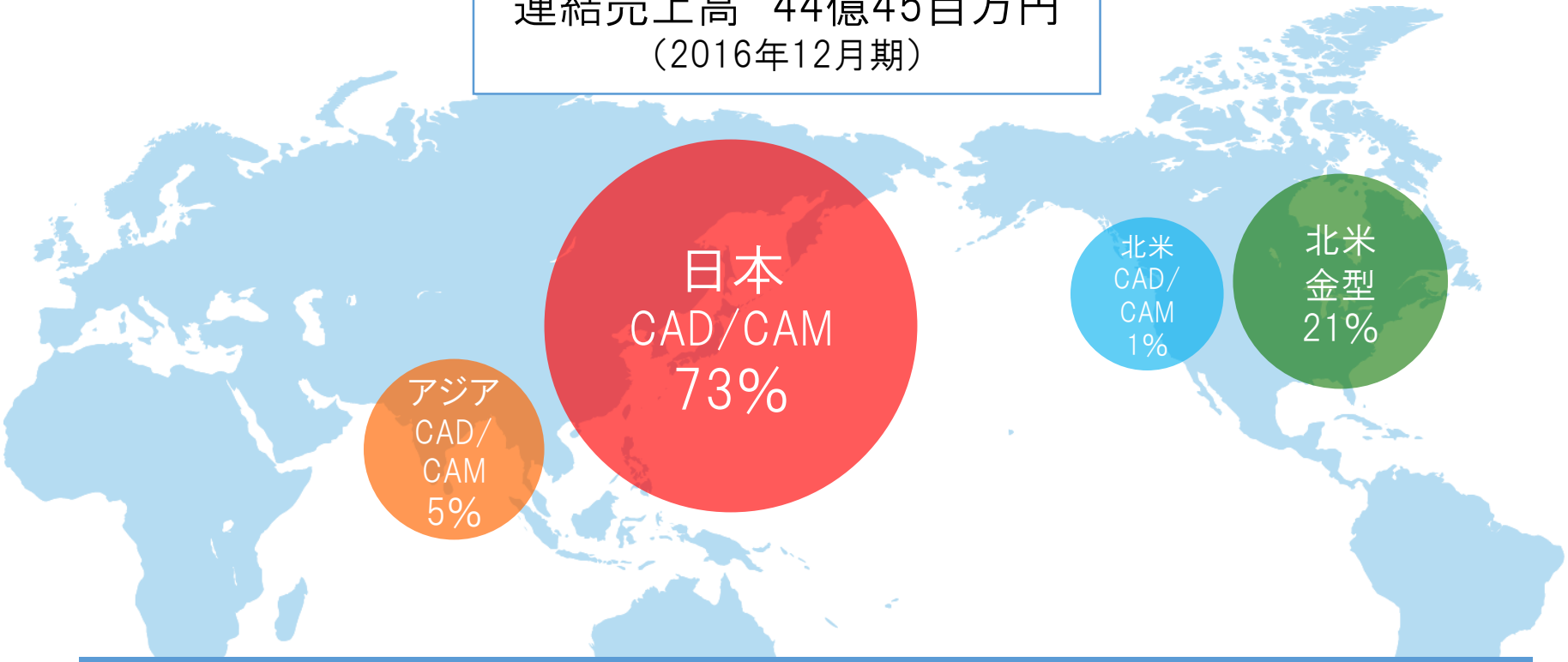
ファン顧客の創造
カスタマイズ化要求
への対応

CAD/CAMシステムの
機能改良版の提供、
利用支援

ストック売上※としての
安定収益

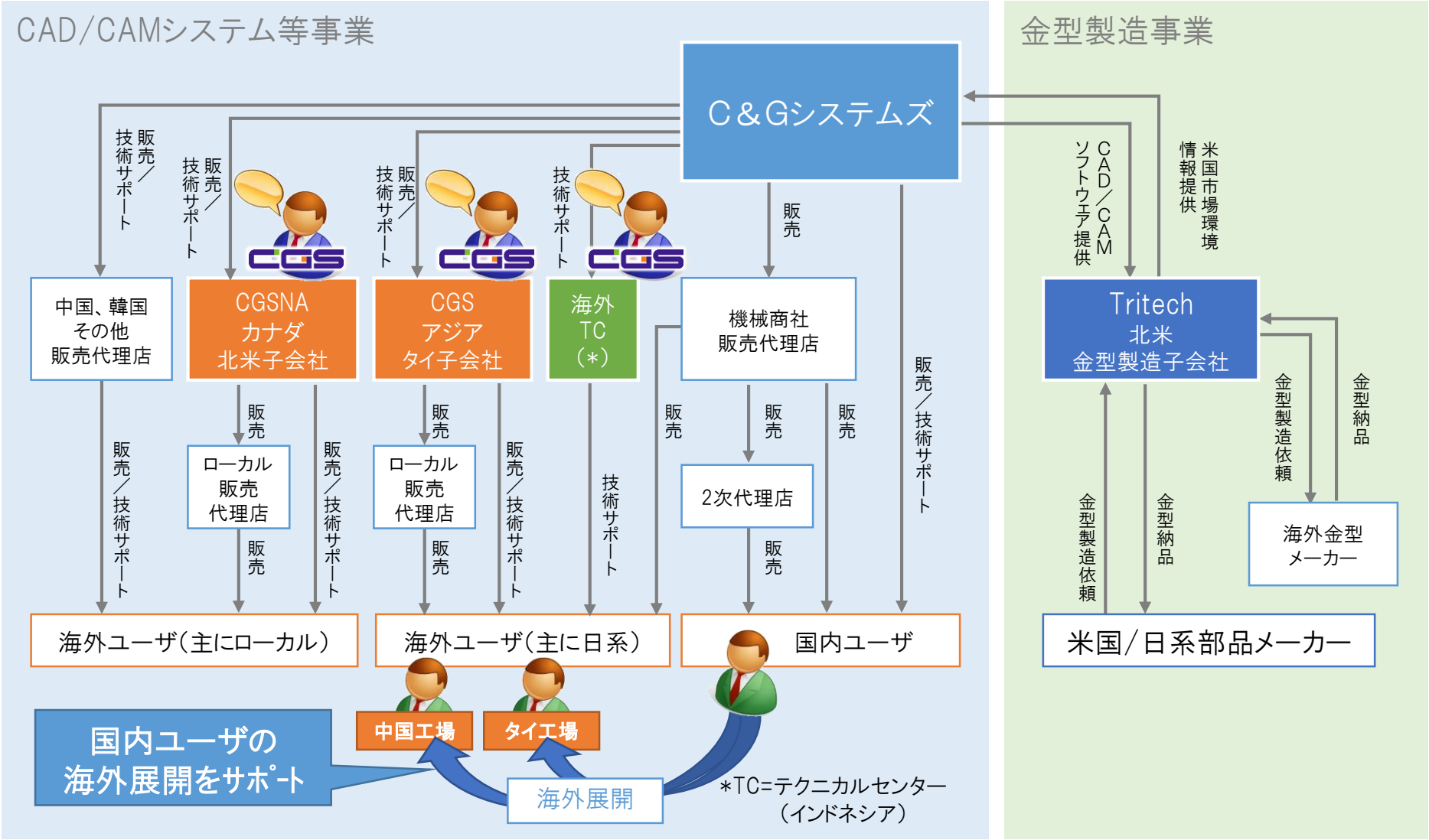
地域別(所在地別)売上高

連結売上高　44億45百万円
(2016年12月期)

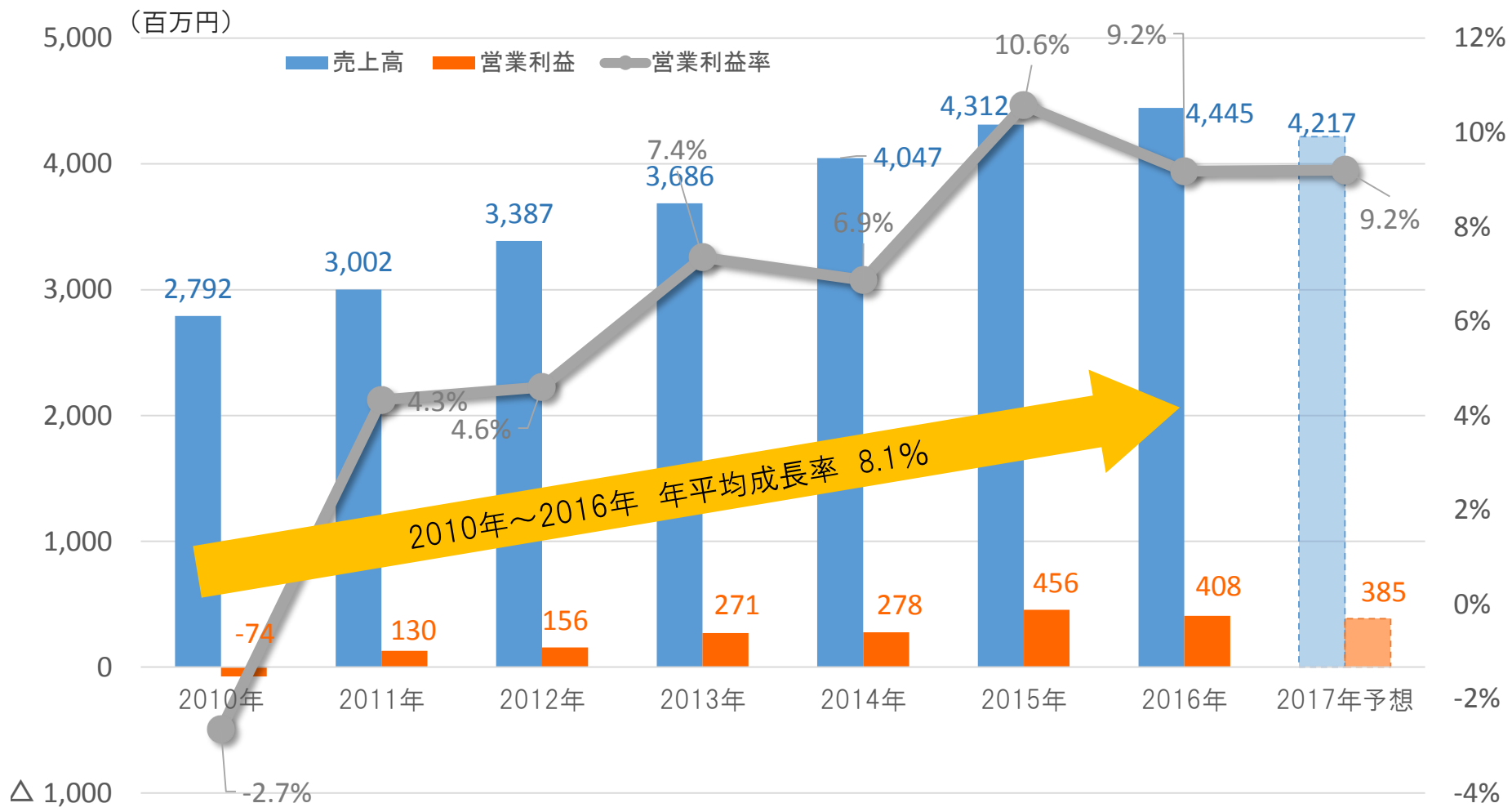


- 海外販売割合(所在地別)は27%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心
  ⇒今後は海外ローカル企業への間接販売を強化

事業系統図


CAD/CAMシステム等事業
C＆Gシステムズ
販売／技術サポート
販売／技術サポート
販売／技術サポート
技術サポート
販売
中国、韓国
その他
販売代理店
CGSNA
カナダ
北米子会社
CGS
アジア
タイ子会社
海外
TC
(*)
機械商社
販売代理店
販売／技術サポート
販売
ローカル
販売
代理店
販売／技術サポート
販売
ローカル
販売
代理店
販売／技術サポート
技術サポート
販売
販売
販売
2次代理店
販売
販売／技術サポート
販売
販売
海外ユーザ(主にローカル)
海外ユーザ(主に日系)
国内ユーザ
中国工場
タイ工場
国内ユーザの
海外展開をサポート
海外展開
*TC=テクニカルセンター
(インドネシア)
金型製造事業
CAD／CAM
ソフトウェア提供
米国市場環境
情報提供
Tritech
北米
金型製造子会社
金型製造依頼
金型納品
海外金型
メーカー
金型製造依頼
金型納品
米国/日系部品メーカー

連結業績の推移


（百万円）
売上高
営業利益
営業利益率
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
△ 1,000
12%
10%
8%
6%
4%
2%
0%
-2%
-4%
2,792
3,002
3,387
3,686
4,047
4,312
4,445
4,217
-74
130
156
271
278
456
408
385
-2.7%
4.3%
4.6%
7.4%
6.9%
10.6%
9.2%
9.2%
2010年～2016年　年平均成長率　8.1%
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年予想

2. 2016年12月期　決算概要

2016年度　決算ハイライト

■ 前期比で増収減益

- 売上高　　44億45百万円（前期比　3.1%増）
- 営業利益　　4億8百万円（前期比　10.6%減）

■ CAD/CAMシステム等事業

- 国内
  - ✓ 売上高は補助金効果等により好調に推移した2015年度との比較では製品販売が若干の減少。保守販売は好調に推移し製品販売の減少分をカバー。
- 海外
  - ✓ 中国およびアセアン地域全体の販売は前期と比較し増加。メキシコ日系企業への大型案件も収益に貢献。
  - ✓ 韓国および台湾が低迷、特に政治経済共に混迷している韓国で低水準

■ 金型製造事業

- 前年度の第4四半期から本年度の第2四半期にかけて自動車関連業からの金型発注が大幅に増加、想定を上回る受注を確保し収益に大きく貢献。過去最高売上を達成。

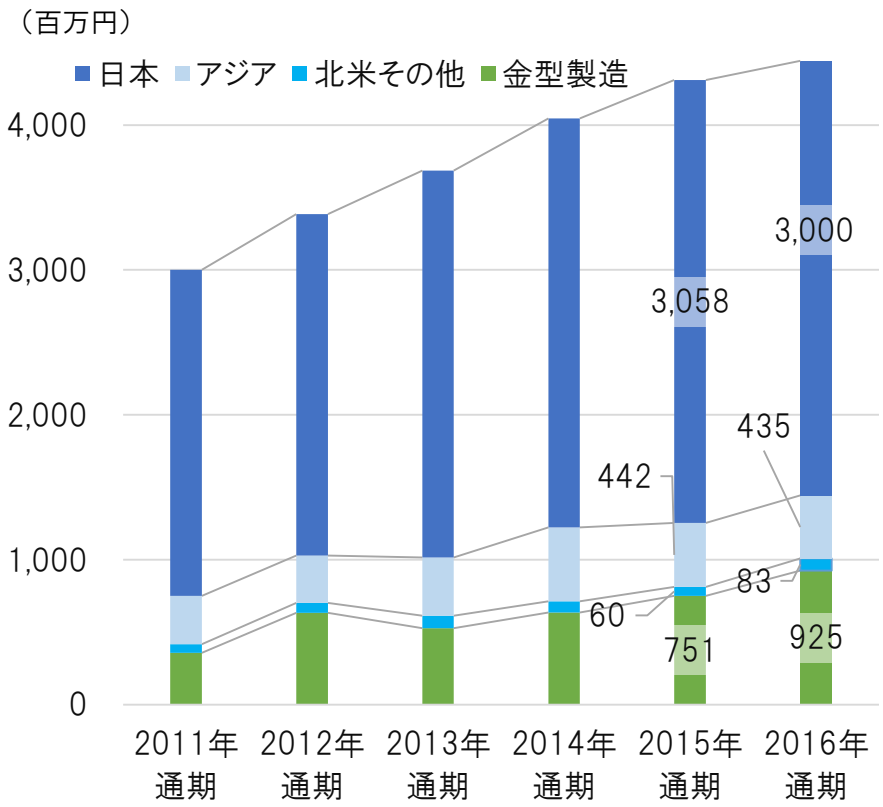
業績概要

（単位：百万円）

	2015年 通期	2016年 通期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	4,312	4,445	100.0%	+132	+3.1%
売上原価	1,632	1,795	40.4%	+163	+10.0%
売上総利益	2,679	2,649	59.6%	△30	△1.1%
販売管理費	2,223	2,241	50.4%	+17	+0.8%
営業利益	456	408	9.2%	△48	△10.6%
経常利益	489	438	9.9%	△51	△10.5%
税金等調整前当期純利益	489	438	9.9%	△51	△10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	310	242	5.5%	△67	△21.8%

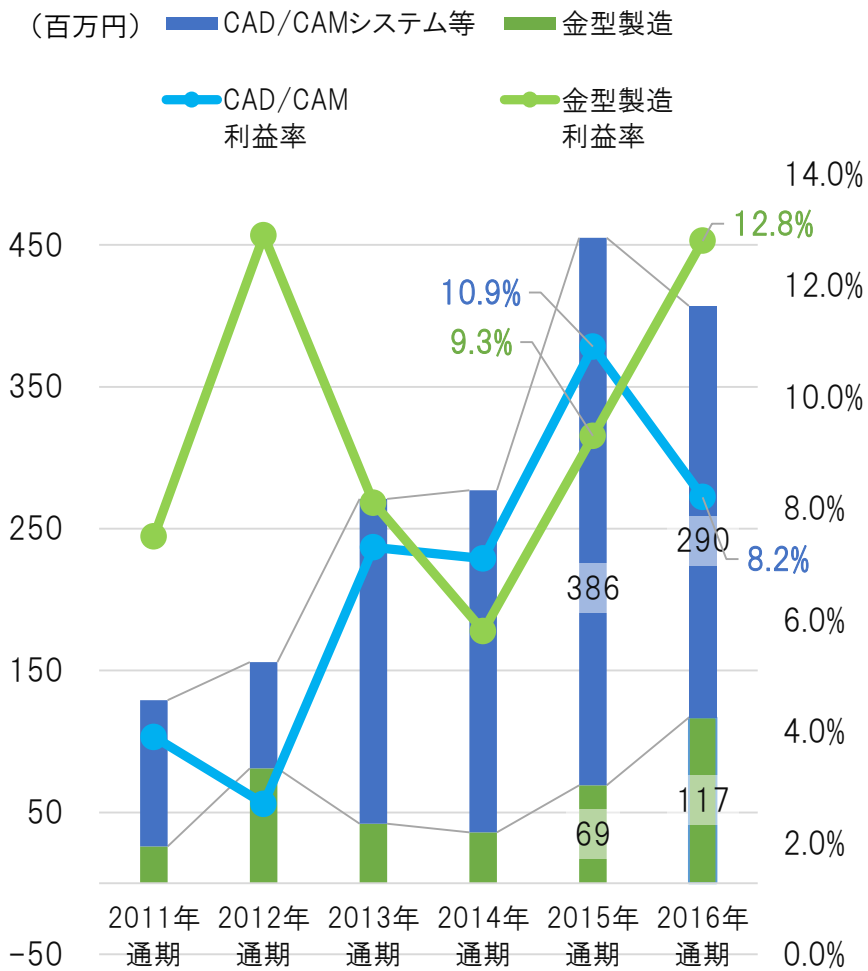
		2015年 期末	2016年 期末	前期末との 差異割合（%）
為替 レート	ドル	120.61円	116.49円	△3.42%
	バーツ	3.34円	3.24円	△2.99%
	カナダドル	87.18円	86.46円	△0.83%

事業セグメント別売上高の推移（仕向地別）



売上高（百万円）	2015年通期	2016年通期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	3,561	3,520	79.2%	△41	△1.2%
国内	3,058	3,000	67.5%	△57	△1.9%
北米	59	64	1.4%	+4	+7.7%
アジア	442	435	9.8%	△6	△1.5%
その他	1	19	0.4%	+18	+1,680.4%
金型製造	751	925	20.8%	+173	+23.1%
合計	4,312	4,445	100.0%	+132	+3.1%

事業セグメント別利益の推移

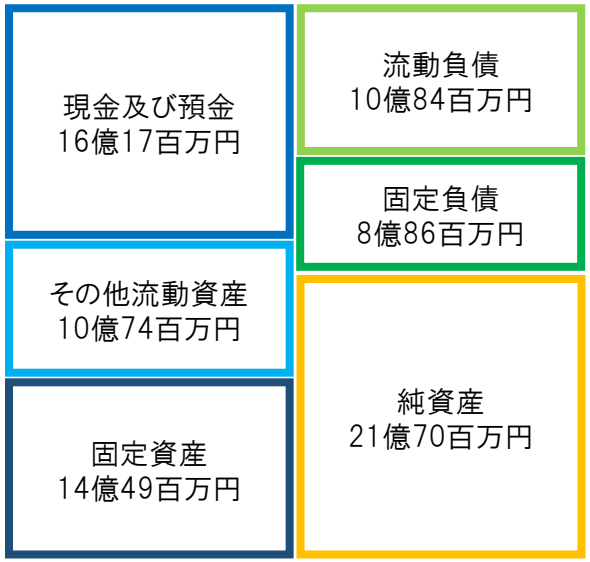


科目		2015年 通期 【実績】	2016年 通期 【実績】	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM					
	売上高	3,561	3,520	△41	△1.2%
	営業利益	386	290	△96	△24.9%
	営業利益率	10.9%	8.2%		
金型製造					
	売上高	751	925	+173	+23.1%
	営業利益	69	117	+48	+68.7%
	営業利益率	9.3%	12.8%		
合計					
	売上高	4,312	4,445	+132	+3.1%
	営業利益	456	408	△48	△10.6%
	営業利益率	10.6%	9.2%		

財務状況

■ 自己資本比率52.8%

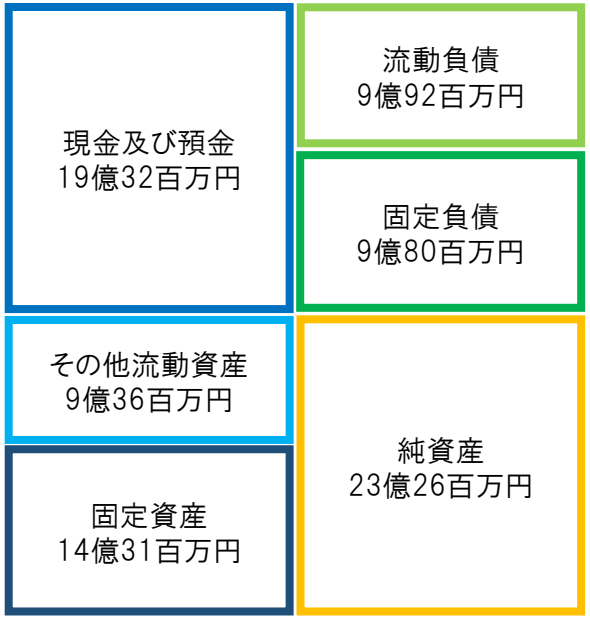
【2015年12月期 期末】



総資本合計　41億41百万円

自己資本比率　51.3%

【2016年12月期 期末】



総資本合計　42億99百万円

自己資本比率　52.8%

主な要因	資産項目：現金及び預金＋3億14百万円、棚卸資産△1億4百万円
	負債項目：未払法人税等＋60百万円、退職給付に係る負債＋79百万円 買掛金△30百万円、前受金△98百万円

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2015年 通期	2016年 通期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	595	531	• 税金等調整前当期純利益4億38百万円：各事業の利益貢献 • その他の主な内訳：減価償却費99百万円、たな卸資産の減少1億0百万円、主な減少要因は前受金の減少88百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△208	△57	• 主な内訳：有形固定資産の取得21百万円、無形固定資産の取得38百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△806	△126	• 配当金の支払額1億26百万円：2016年度期末配当10円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△14	
現金及び現金同等物の増減額	△423	331	
現金及び現金同等物の期末残高	1,496	1,828	

フリーキャッシュフロー	386	473	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針の進捗状況

中長期事業方針

基本戦略①
既存の基幹収益源
（国内CAD/CAMシステム事業）の
維持・拡張

基本戦略②
成長する
海外CAD/CAM市場の
取り込み

＋

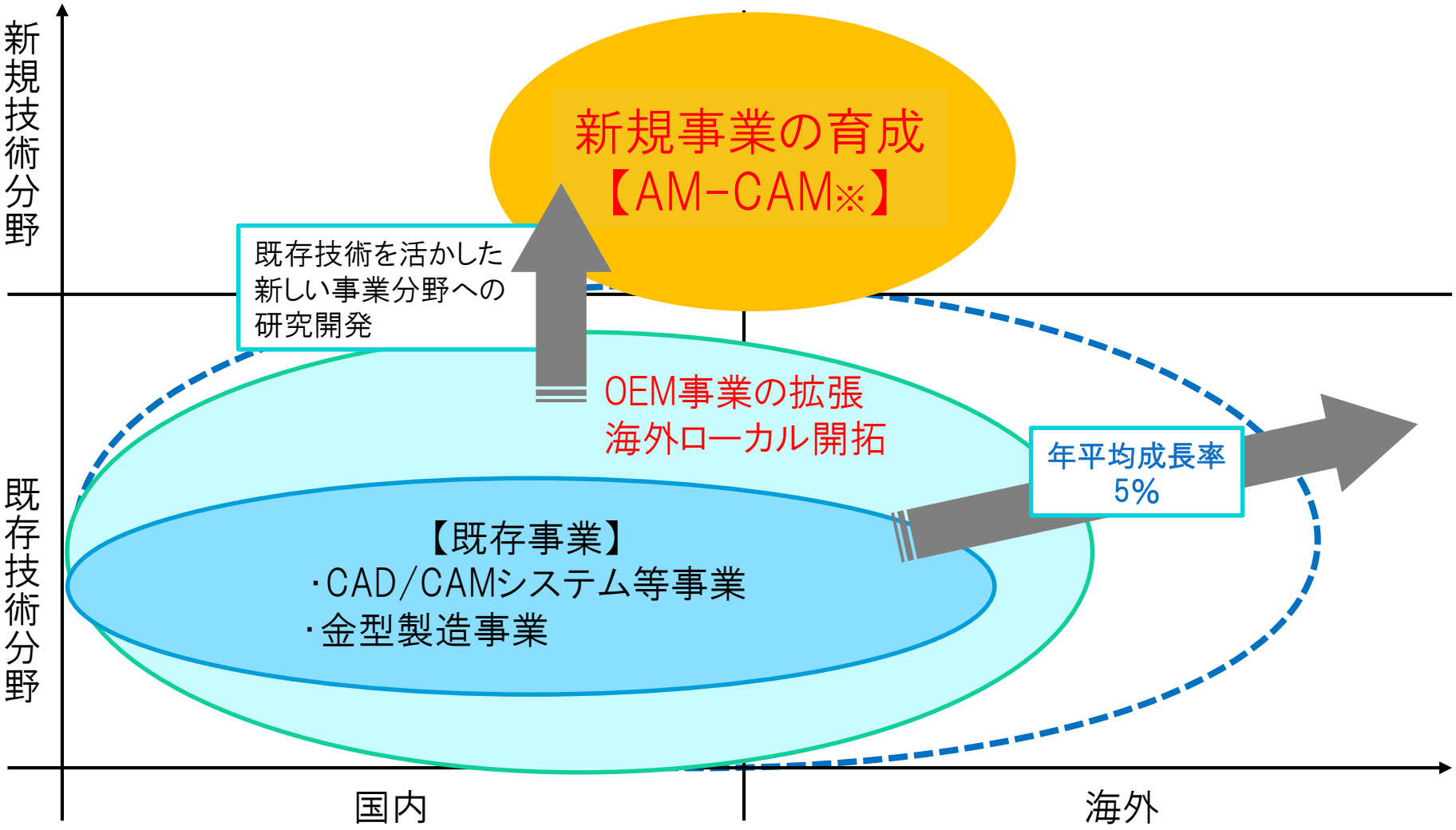
基本戦略③
次世代収益源としての
新規事業の育成

AM-CAM※他

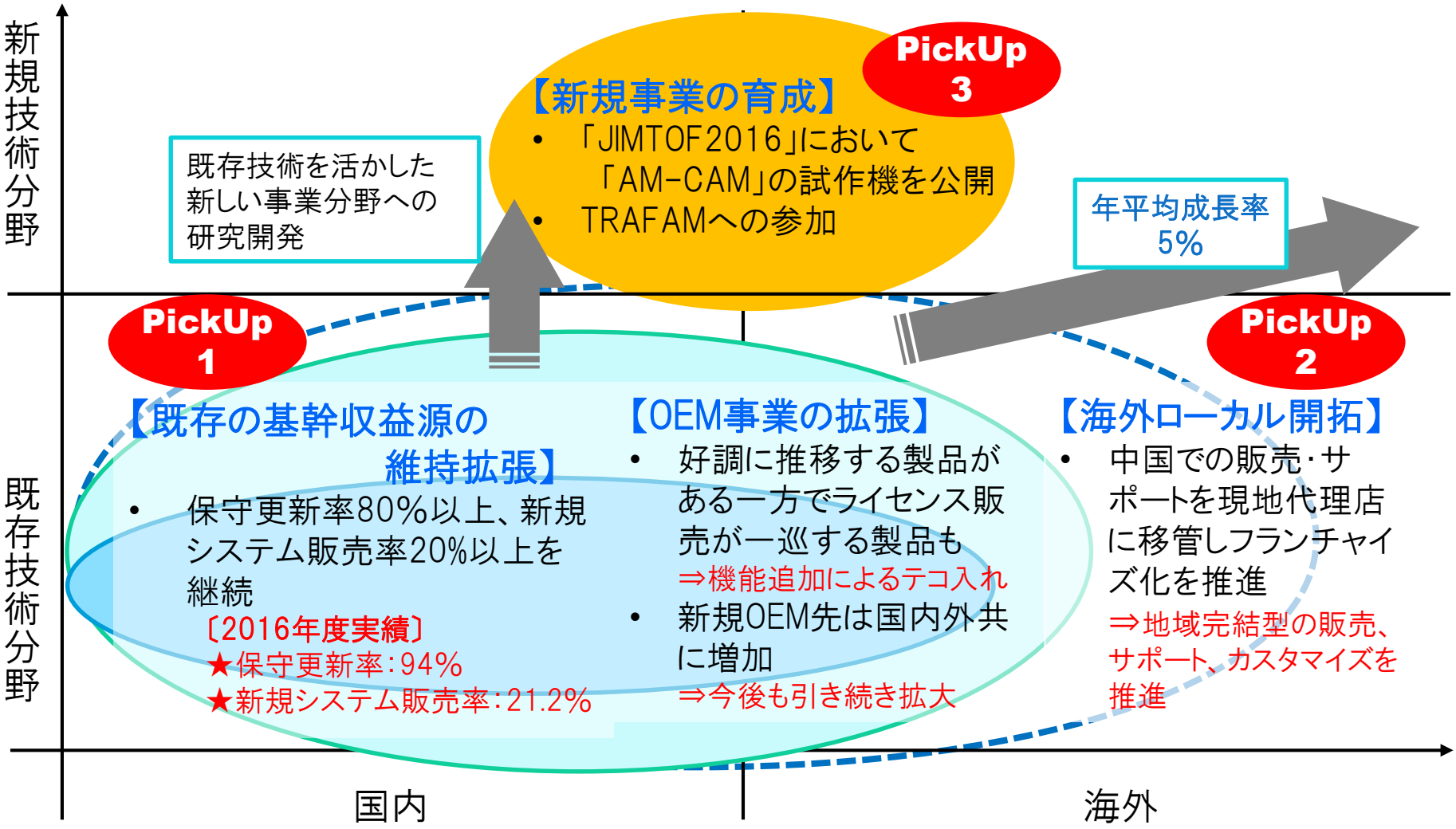
2015～2020年 売上高 年平均成長率	2020年 経常利益率	2020年 ROE
5%	20%以上	15%以上

【メーカースピリッツ】
ソリュ-ション創造企業として
新しい技術を育成し続ける

中長期の方向性


新規技術分野
既存技術分野
新規事業の育成
【AM-CAM※】
既存技術を活かした
新しい事業分野への
研究開発
OEM事業の拡張
海外ローカル開拓
年平均成長率
5%
【既存事業】
・CAD/CAMシステム等事業
・金型製造事業
国内
海外

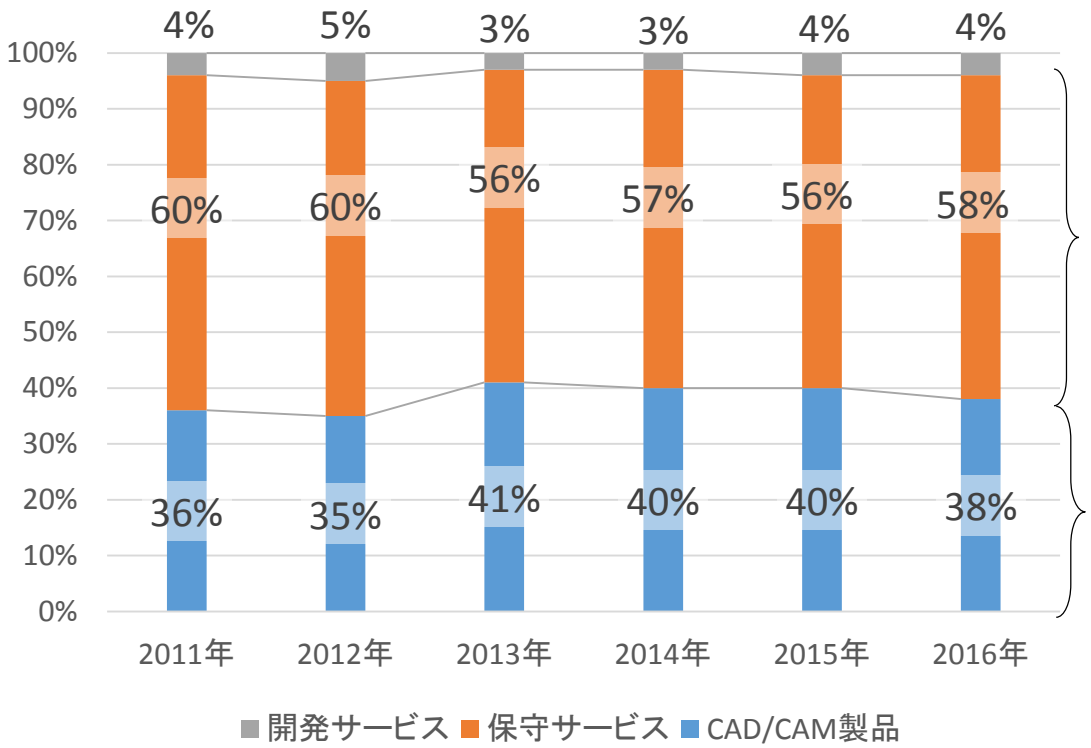
中長期の方向性および各戦略の進捗



安定収益源としての保守売上（ストックビジネス）

PickUp 1

■ CAD/CAMシステム等事業　販売内訳



保守販売

保守更新率80%以上をキープ

2016年度：94%

CAD/CAMシステムのユーザに
保守サービスを提供する一方で、
「年間保守料」として安定した収益を確保

製品販売

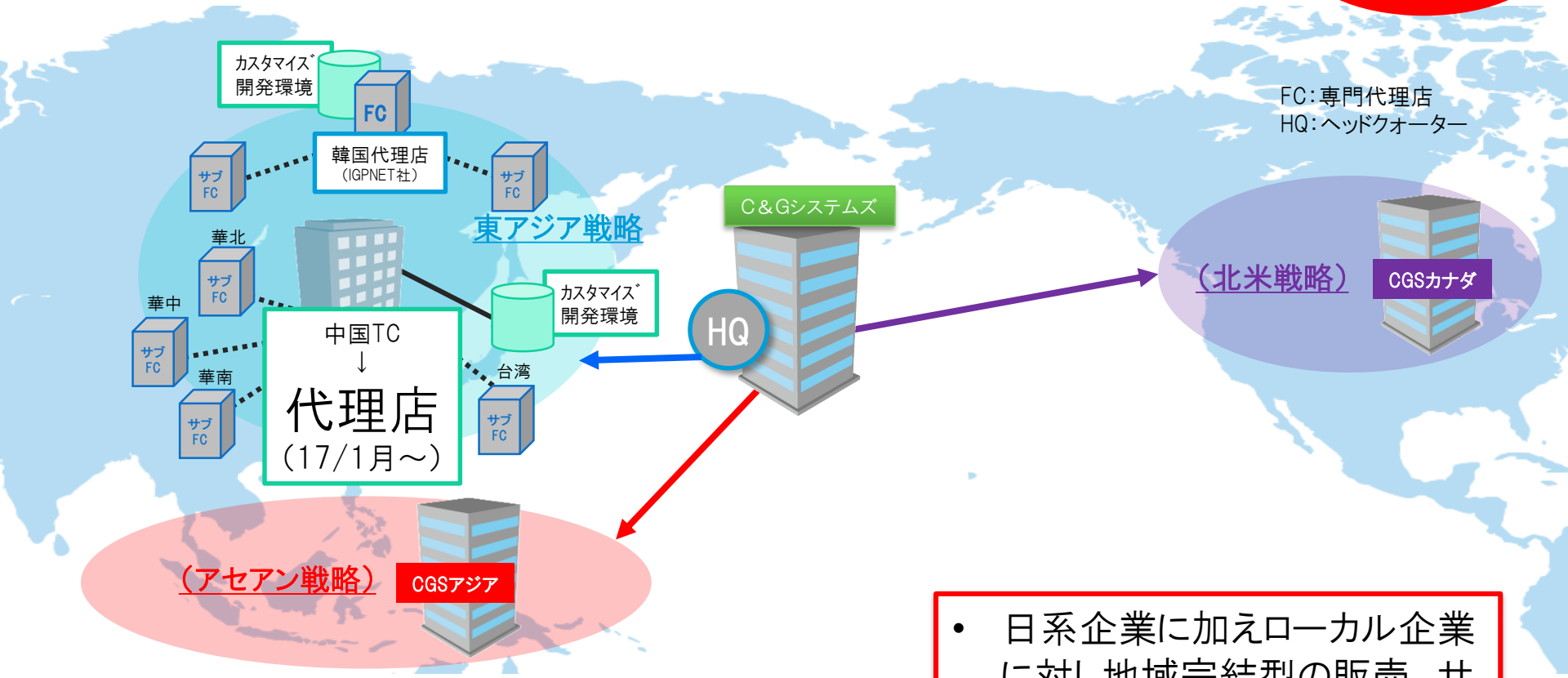
新規システム販売率20%以上

国内外7,000事業所に上る既存ユーザの
CAD/CAMシステム買い替え需要と並行し
新規顧客も増加
※2016年度実績：21.2%

**魅力ある製品、満足度の高い技術サポート提供により
新規販売および既存ユーザの買い替え需要を喚起**

専門代理店（フランチャイズ化）
～中国での販売・サポートの代理店への移管

PickUp 2



- 2016年12月に中国における販売・サポートを現地代理店に移管（中国TCを廃止）

- 日系企業に加えローカル企業に対し地域完結型の販売、サポート、カスタマイズを推進
- 拠点管理コスト減少により利益率向上の見込み

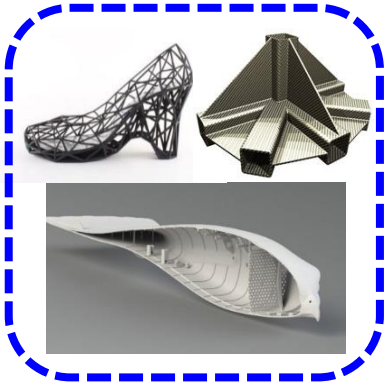
積層加工技術による新規事業開拓

PickUp 3

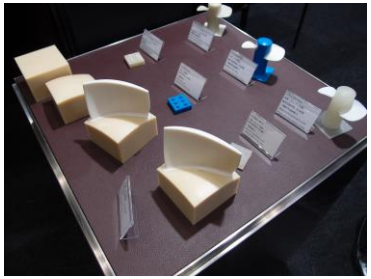
■ 「JIMTOF2016」において「AM-CAM」の試作機を公開

CADデータから造形+加工の
NCデータ※を直接生成

同時5軸制御による
積層造形と切削加工



Light Weight Structure：宇宙航空、
医療健康、自動車、家電など



従来技術：3Dプリンタ → 新技術：同時5軸制御

※「平成27年度戦略的基盤技術高度化支援事業
事業成果報告
『事業名：同時5軸制御 Additive Manufacturing
（加法的製造）によるLight Weight Structure
（軽量構造）の実現』」より引用

■ TRAFAM（技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構）への参加

TRAFAM
Technology Research Association for Future Additive Manufacturing

当社が蓄積したFDM 方式（熱溶解積層法）での CAM 開発のノウハウを用い、粉末金属積層方式の CAM 開発に参入

4. 2017年12月期通期業績見通し

通期の見通し

- 国内：円高の是正に伴い国内製造業は堅調に推移する見込み
- 海外：主力市場では不透明な状態が継続するもローカル向け販売に活路

市場環境の変化（＋）

（国内）

- 国内景気の下押し要因となっていた円高の是正に伴い景気は回復傾向にあり、国内製造業は堅調に推移する見込み

（海外）

- 円安傾向により為替換算による当社グループ収益減少に歯止め
- 中国、アセアンにおいてローカルの金型メーカー台頭により市場が拡大
- 低調なタイの自動車販売は下期から改善か（自動車転売規制の終了）

市場環境の変化（－）

（国内）

- 欧米の動向変化に伴う為替変動（円安の製造業への影響

（海外）

- 韓国は引き続き政治経済が混迷
- タイの政情不安は継続
- 中国経済鈍化の影響を受けアセアン地域の成長は減速傾向
- 北米（米国、カナダ、メキシコ）は今後の動向を注視

2017年の取り組み

■ 国内CAD/CAMシステム事業

- 高い保守更新率の維持によるストック売上のさらなる向上
- オリジナル製品・オプション製品のさらなる販売強化
- 生産財メーカーとの協力関係を維持・強化

■ 海外CAD/CAMシステム事業

- 地域別管理体制の確立（アセアン/東アジア/北米）
- 中国代理店の立ち上げ
- 韓国でのAPI公開による製品カスタマイズ立ち上げおよび横展開の開始

■ OEM事業/新規事業

- 国内外のOEM先の開拓・開発を継続（切削CAM系/研削CAM系/放電CAM系）
- 5軸FDM商品化および金属積層向けAM-CAMの確立に向け研究開発を継続

2017年12月期 連結通期業績予想

（単位：百万円）

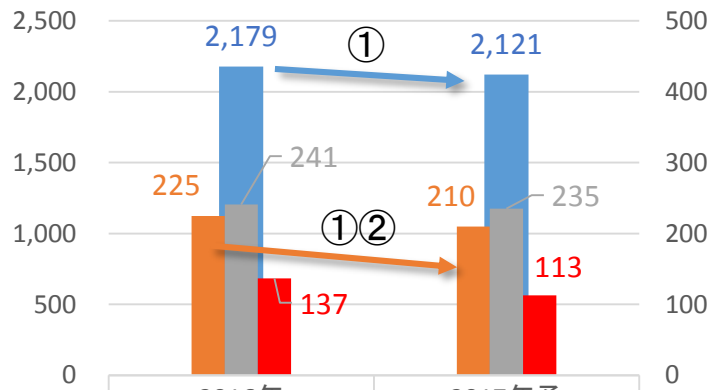
【第2四半期】	16/12期実績	17/12期予想	構成比	増減額	増減率
売上高	2,179	2,121	100%	△57	△2.7%
営業利益	225	210	9.9%	△15	△6.7%
経常利益	241	235	11.1%	△5	△2.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	137	113	5.3%	△23	△17.4%

【通期】	16/12期実績	17/12期予想	構成比	増減額	増減率
売上高	4,445	4,217	100%	△227	△5.1%
営業利益	408	385	9.2%	△22	△5.4%
経常利益	438	419	10.0%	△18	△4.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	242	437	10.4%	+195	+80.3%

2017年12月期 連結通期業績予想

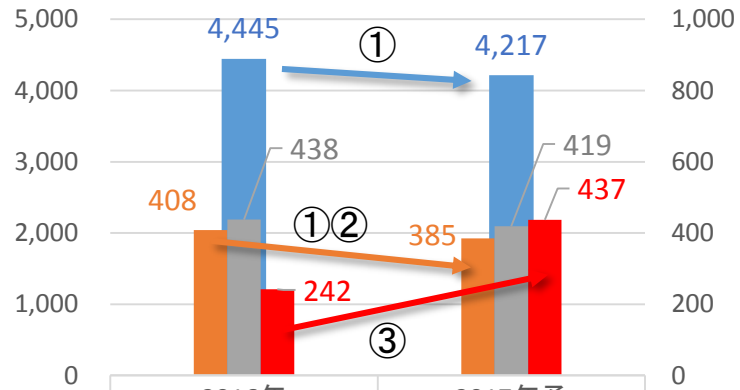
（単位：百万円）

第2四半期



	2016年	2017年予
売上高	2,179	2,121
営業利益	225	210
経常利益	241	235
当期純利益（※）	137	113

通期



	2016年	2017年予
売上高	4,445	4,217
営業利益	408	385
経常利益	438	419
当期純利益（※）	242	437

（※）＝親会社株主に帰属する当期純利益

		2016年 期末	2017年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	116.49円	115.00円
	バーツ	3.24円	3.00円
	カナダドル	86.46円	85.00円

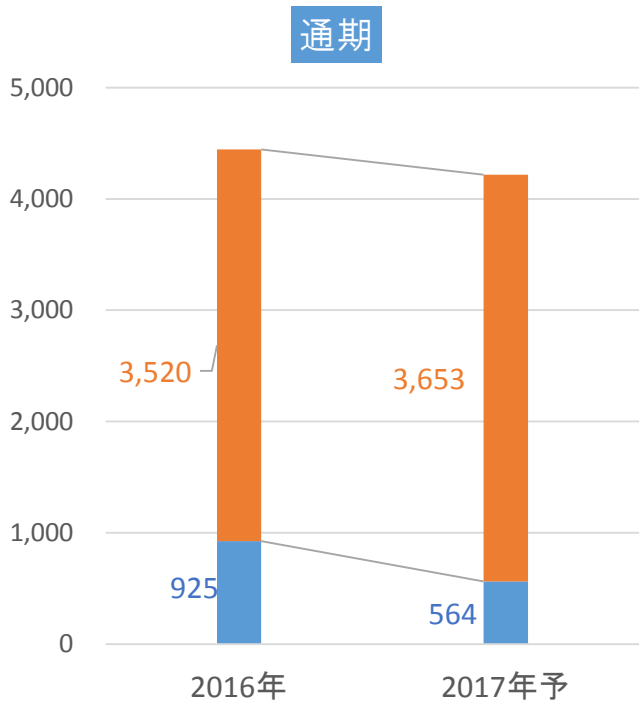
① 金型製造事業について：2016年度の受注増は一時的と判断し2016年との比較で減収減益予想

② 中国業務の代理店への移管：売上は減少するも拠点コスト減少により利益は増加の見込み

③ 親会社株主に帰属する当期純利益：繰延税金資産の回収可能性を見直す見込みのため通期では1億95百万円増加の予想

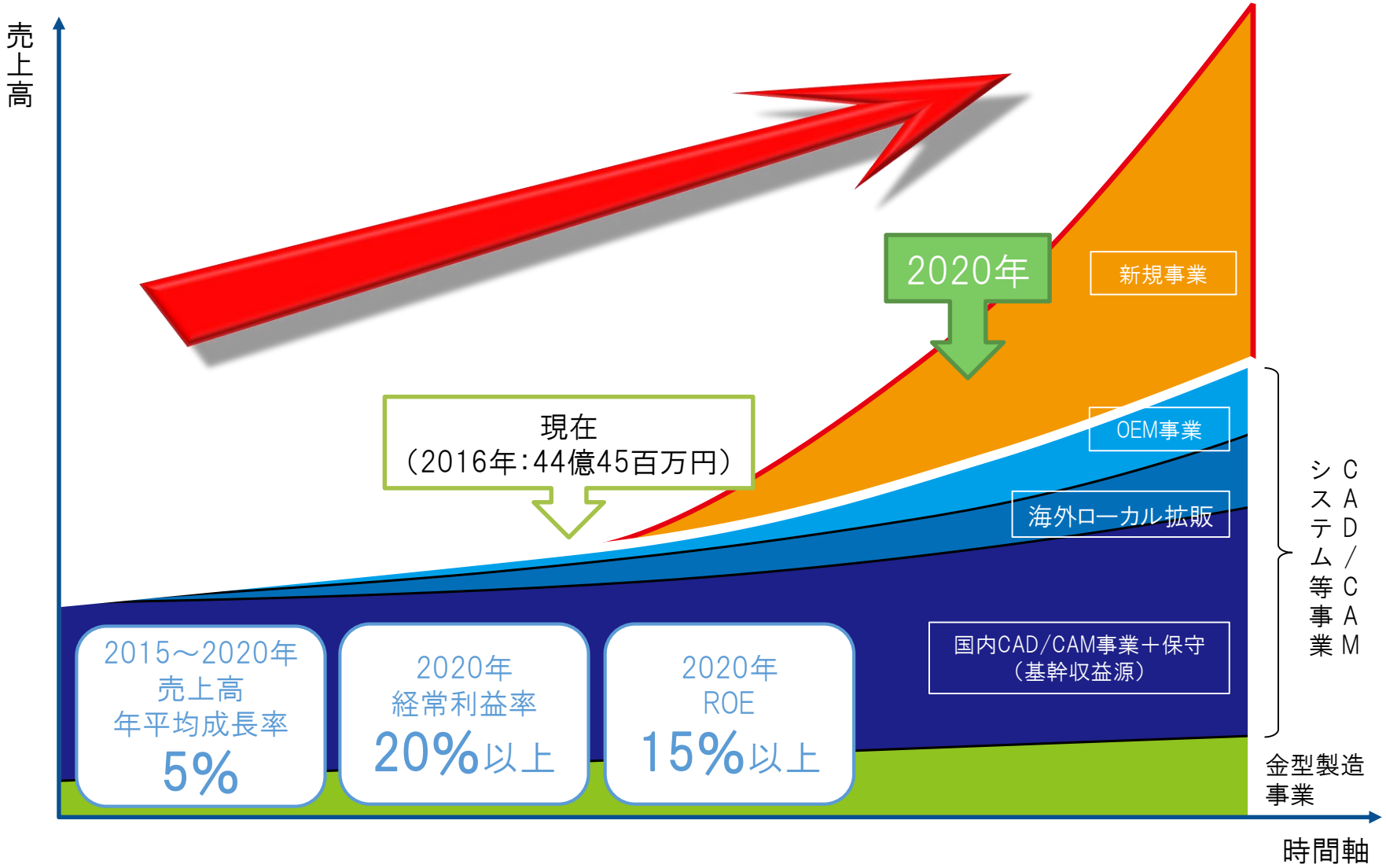
連結セグメント売上予想

（単位：百万円）



【通期】	16/12期 実績	17/12期 予想	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等	3,520	3,653	86.6%	＋133	＋3.8%
金型製造	925	564	13.4%	△360	△39.0%
合計	4,445	4,217	100%	△227	△5.1%

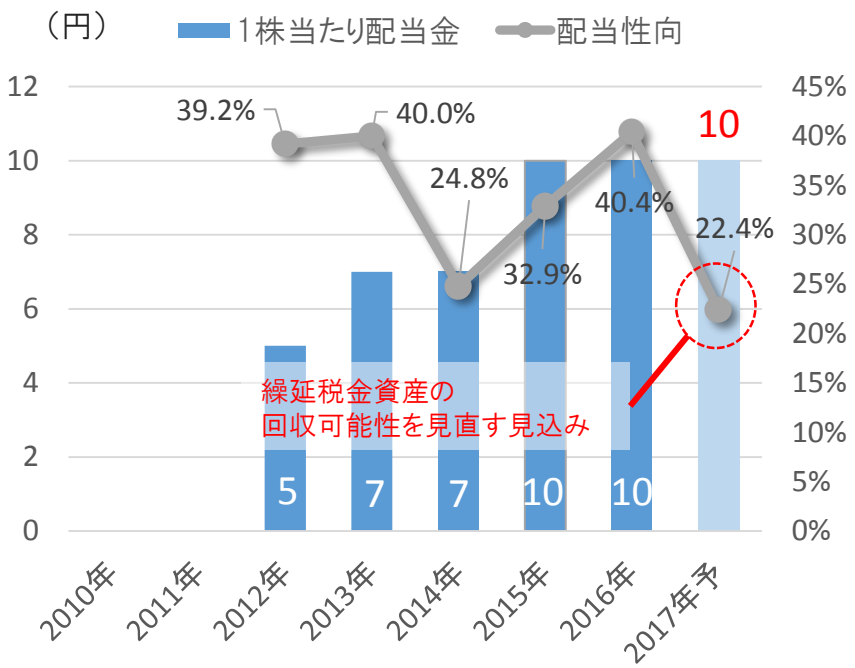
今後の成長イメージ（現有事業の拡張＋新規事業）

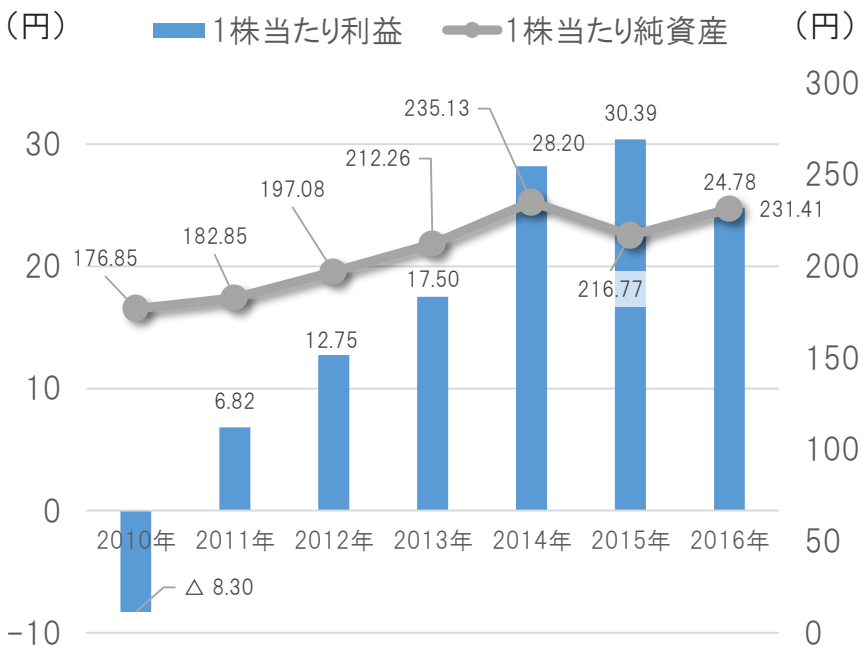


5. 株主還元について

配当について

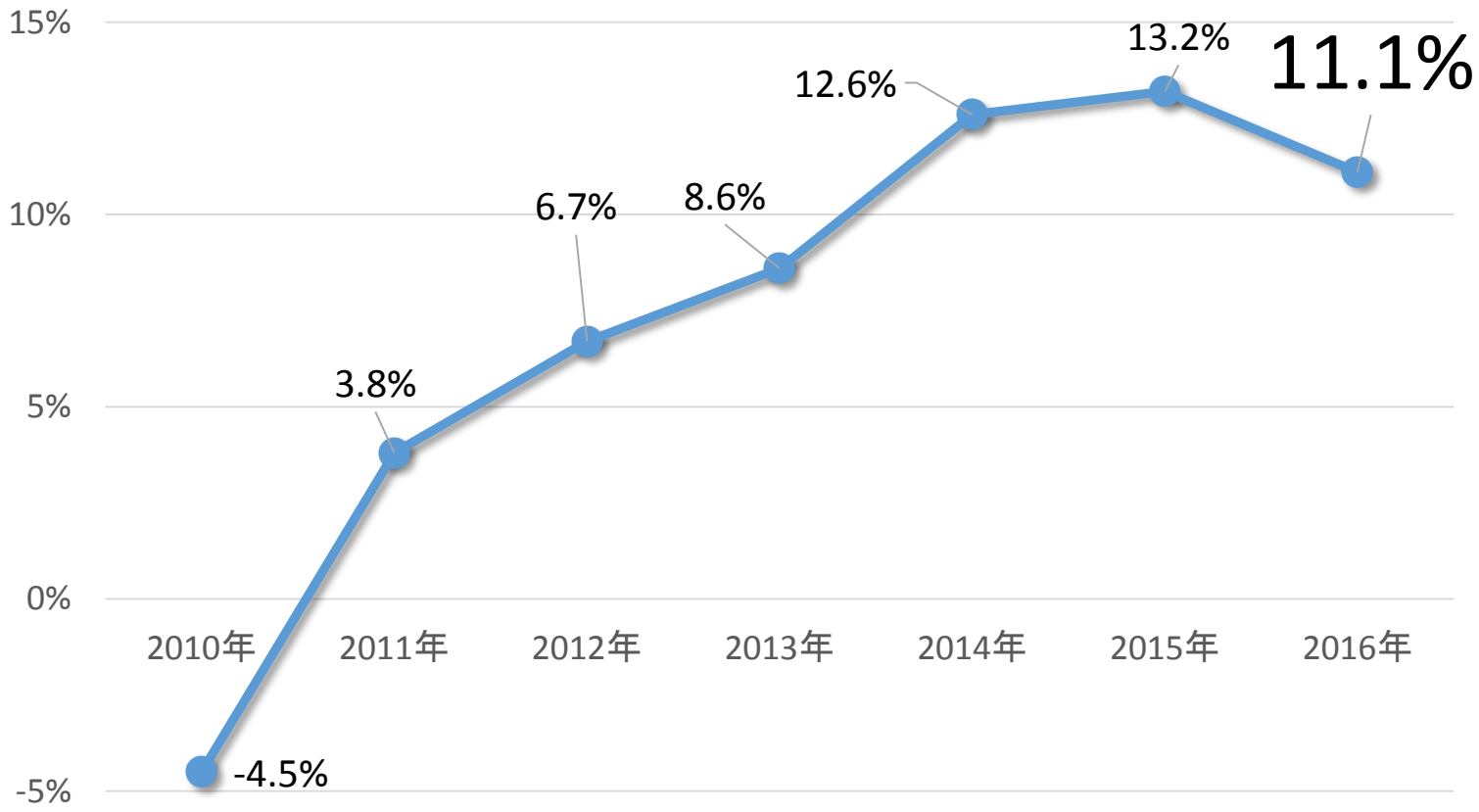
■ 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す





(ご参考)ROEの推移

■ 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



（ご参考）専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM＝「Additive Manufacturing（積層造形法）」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。 製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API＝「Application Programming Interface」。すでにある機能を呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムを作ることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC＝「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAM システム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC〔Numerical Control〕データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス／ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工：2軸加工（平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等）に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工：XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工：XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット（そのままでは型が抜けない形状）を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものですが、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（お問合せ先）

株式会社C＆Gシステムズ　管理部総務課　IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp